

救急科

| 臨床研修期間(2年間) | |
|--------------------------|------------|
| 病院名 | 医療圏 |
| 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院 | 1401横浜北部 |
| 昭和大学藤が丘病院 | 1401横浜北部 |
| 聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 | 1401横浜北部 |
| 医療法人社団明芳会横浜旭中央総合病院 | 1401横浜北部 |
| 菊名記念病院 | 1401横浜北部 |
| 公益財団法人横浜労働者福祉協会汐田総合病院 | 1401横浜北部 |
| 昭和大学横浜市北部病院 | 1401横浜北部 |
| 済生会横浜市東部病院 | 1401横浜北部 |
| 恩賜財団済生会横浜市南部病院 | 1403横浜南部 |
| 国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院 | 1403横浜南部 |
| 国家公務員共済組合連合会横浜共済病院 | 1403横浜南部 |
| 公立大学法人横浜市立大学附属病院 | 1403横浜南部 |
| 横浜市立みなと赤十字病院 | 1403横浜南部 |
| 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター | 1403横浜南部 |
| 独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院 | 1403横浜南部 |
| 康心会汐見台病院 | 1402横浜西部 |
| 財団法人神奈川県警友会けいけい病院 | 1402横浜西部 |
| 独立行政法人国立病院機構横浜医療センター | 1402横浜西部 |
| 横浜市立市民病院 | 1402横浜西部 |
| 社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院 | 1402横浜西部 |
| 医療法人相模会戸塚共立第1病院 | 1402横浜西部 |
| 東戸塚記念病院 | 1402横浜西部 |
| 社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷横浜病院 | 1402横浜西部 |
| 帝京大学医学部附属溝口病院 | 1404川崎北部 |
| 聖マリアンナ医科大学病院 | 1404川崎北部 |
| 川崎市立多摩病院 | 1404川崎北部 |
| 医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 | 1404川崎北部 |
| 独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院 | 1405川崎南部 |
| 川崎市立川崎病院 | 1405川崎南部 |
| 医療法人社団こうかん会日本鋼管病院 | 1405川崎南部 |
| 川崎協同病院 | 1405川崎南部 |
| 川崎市立井田病院 | 1405川崎南部 |
| 日本医科大学武蔵小杉病院 | 1405川崎南部 |
| 社会医療法人財団石心会川崎幸病院 | 1405川崎南部 |
| 独立行政法人国立病院機構相模原病院 | 1410相模原 |
| 北里大学病院 | 1410相模原 |
| 神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院 | 1410相模原 |
| 横須賀市立うわまち病院 | 1408横浜東・三浦 |
| 国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院 | 1408横浜東・三浦 |
| 横須賀市立市民病院 | 1408横浜東・三浦 |
| 医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院 | 1408横浜東・三浦 |
| 社会医療法人財団互恵会大船中央病院 | 1408横浜東・三浦 |
| 藤沢市民病院 | 1407湘南東部 |
| 医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院 | 1407湘南東部 |
| 一般財団法人同友会藤沢湘南台病院 | 1407湘南東部 |
| 医療法人社団康心会湘南東部総合病院 | 1407湘南東部 |
| 茅ヶ崎市立病院 | 1407湘南東部 |
| 平塚市民病院 | 1408湘南西部 |
| 国家公務員共済組合連合会平塚共済病院 | 1408湘南西部 |
| 東海大学医学部付属病院 | 1408湘南西部 |
| 神奈川県厚生農業協同組合連合会伊勢原協同病院 | 1408湘南西部 |
| 秦野赤十字病院 | 1408湘南西部 |
| 大和市立病院 | 1409県央 |
| 海老名総合病院 | 1409県央 |
| 厚木市立病院 | 1409県央 |
| 医療法人社団三思会東名厚木病院 | 1409県央 |
| 医療法人沖縄徳洲会湘南厚木病院 | 1409県央 |
| 小田原市立病院 | 1411県西 |
| 山近記念総合病院 | 1411県西 |
| 神奈川県立足柄上病院 | 1411県西 |

| 専門医研修期間(標準3年間) | | | | |
|--------------------------------|------------|--------------------------------|------------|-----|
| 基幹施設名 | 医療圏 | 基幹・連携施設名 | 医療圏 | 病床数 |
| 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院 | 1401横浜北部 | ※神奈川県内の連携施設なし | | |
| 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 横浜市東部病院 | 1401横浜北部 | 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 神奈川県病院 | 1401横浜北部 | 370 |
| 横浜市立みなと赤十字病院 | 1403横浜南部 | 平塚市民病院 | 1408湘南西部 | 416 |
| | | 菊名記念病院 | 1401横浜北部 | 218 |
| | | 医療法人社団緑成会 横浜総合病院 | 1401横浜北部 | 300 |
| | | 一般財団法人 神奈川県警友会 けいけい病院 | 1402横浜西部 | 410 |
| | | 聖隷横浜病院 | 1402横浜西部 | 300 |
| 医療法人財団明理会 東戸塚記念病院 | 1402横浜西部 | 292 | | |
| 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 1403横浜南部 | 独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター | 1402横浜西部 | 510 |
| | | 横浜市立市民病院 | 1402横浜西部 | 650 |
| | | 社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院 | 1402横浜西部 | 287 |
| | | 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 | 1403横浜南部 | 565 |
| | | 恩賜財団済生会 横浜市南部病院 | 1403横浜南部 | 500 |
| 国家公務員共済組合連合会 横浜共済病院 | 1403横浜南部 | 747 | | |
| 独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院 | 1403横浜南部 | 横須賀市立うわまち病院 | 1408横浜東・三浦 | 417 |
| 一般財団法人 同友会 藤沢湘南台病院 | 1407湘南東部 | 322 | | |
| 聖マリアンナ医科大学病院 | 1404川崎北部 | 聖マリアンナ医科大学横浜西部病院 | 1402横浜西部 | 518 |
| | | 聖隷横浜病院 | 1402横浜西部 | 300 |
| | | 川崎市立多摩病院 | 1404川崎北部 | 376 |
| 医療法人社団三成会新百合ヶ丘総合病院 | 1404川崎北部 | 菊名記念病院 | 1401横浜北部 | 218 |
| | | 医療法人社団緑成会 横浜総合病院 | 1401横浜北部 | 300 |
| | | 国家公務員共済組合連合会 横浜共済病院 | 1403横浜南部 | 430 |
| | | 国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院 | 1408湘南西部 | 441 |
| 川崎市立川崎病院 | 1405川崎南部 | 川崎市立井田病院 | 1405川崎南部 | 383 |
| 日本医科大学武蔵小杉病院 | 1405川崎南部 | 社会医療法人財団石心会 川崎幸病院 | 1405川崎南部 | 326 |
| 北里大学病院 | 1410相模原 | 独立行政法人労働者健康安全機構 関東労災病院 | 1405川崎南部 | 610 |
| | | 医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院 | 1402横浜西部 | 515 |
| 横須賀市立うわまち病院 | 1408横浜東・三浦 | 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 | 1410相模原 | 458 |
| | | 川崎市立多摩病院 | 1404川崎北部 | 376 |
| | | 横須賀市立市民病院 | 1408横浜東・三浦 | 482 |
| 医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 | 1408横浜東・三浦 | 医療法人 沖縄徳洲会 葉山ハートセンター | 1408横浜東・三浦 | 89 |
| | | 医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 | 1407湘南東部 | 419 |
| | | 医療法人 沖縄徳洲会 湘南厚木病院 | 1409県央 | 253 |
| | | 医療法人徳洲会 大和徳洲会病院 | 1409県央 | 14 |
| 藤沢市民病院 | 1407湘南東部 | 神奈川県厚生農業協同組合連合会 相模原協同病院 | 1410相模原 | 437 |
| | | 医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 | 1407湘南東部 | 419 |
| | | 茅ヶ崎市立病院 | 1407湘南東部 | 401 |
| | | 一般財団法人 同友会 藤沢湘南台病院 | 1407湘南東部 | 322 |
| | | 茅ヶ崎市立病院 | 1407湘南東部 | 401 |
| 東海大学医学部付属病院 | 1408湘南西部 | 平塚市民病院 | 1408湘南西部 | 416 |
| | | 独立行政法人国立病院機構 神奈川県病院 | 1408湘南西部 | 370 |
| | | 東名厚木病院 | 1409県央 | 277 |
| | | 社会医療法人 ジャパンメディカルライアンス 海老名総合病院 | 1409県央 | 469 |
| | | 小田原市立病院 | 1411県西 | 417 |
| 平塚市民病院 | 1408湘南西部 | 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 横浜市東部病院 | 1401横浜北部 | 560 |
| | | 東海大学医学部付属病院 | 1408湘南西部 | 804 |

| 地域実践標準4年(専門医研修を希望しない場合は7年間) | | | | | | |
|--------------------------------|------------|------|-------------------|-----------------|---|--|
| 病院名 | 医療圏 | 病床数 | 大学・基幹施設連携施設派遣の取扱い | 地域研修等募集人数の目安(人) | 受入希望理由(病院説明事項) | キャリア形成に係るメリット(病院説明事項) |
| 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院 | 1401横浜北部 | 650 | 基幹施設人事による派遣事も含む | 2 | 救急科: 少しでも救急医療を理解し、実施できる医師を養成するため。 | 救急科: 一次救急から三次救急までを救急医が診療する北米型ER形式の救命救急センターである。必ず指導医がついた体制での研修となり、安全な環境で充実した救急診療を研修できる。必ず指導医がついた体制での研修となり、安全な環境で充実した救急診療を研修できる。 |
| 社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会 横浜市東部病院 | 1401横浜北部 | 562 | 基幹施設人事による派遣事も含む | 1 (状況により) | 当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、産科救急などを行っています。症例数、指導医数も十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えます。 | 鶴見区、神奈川区の地域中核病院で、救命救急センター中心に24時間365日応需のER型救急医療を提供しています。多数の症例を経験することが出来、若い医師の育成ができると考えています。 |
| 昭和大学藤が丘病院 | 1401横浜北部 | 584 | | | 特に麻酔科・救急科の一層の強化を目指しており、そのためにより多くの医師に転職してほしいと考えているからです。 | 当院は、大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を多く経験することが出来ます。 |
| 横浜市立市民病院 | 1402横浜西部 | 650 | 医師人事による派遣人事のみ | 未定 | 2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。 | 当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験が積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいと思います。 |
| 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター | 1402横浜西部 | 726 | 医師人事による派遣人事も含む | 未定 | | |
| 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 | 1403横浜南部 | 565 | | 未定 | 救急科: 人員不足のため。 | 救急科: 30年度は当院は救急患者16,000人、救急車台数7889台を受け入れている救命救急センターです。ER診療を初期臨床研修医の教育を行いつつ、平日日勤帯を担当しており人数が増えればオープン管理のICUの管理も一部担当させていただく方針です。経験は十分に積めると思いますが後期専攻医(3年目)の方は横浜市立大学救急医学教室を基幹とする専攻医プログラムに入っていた方が必要があります。 |
| 公立大学法人 横浜市立大学附属病院 | 1403横浜南部 | 674 | 医師人事による派遣人事も含む | 未定 | 《救急科》 高度救命救急センターとして重症産婦人科(産褥コール)症例、小児症例(外傷を含む)、開腹手術等の緊急症例、麻酔症例(麻酔科をサブスペシャリティーとする医師が多く在籍)、内科(循環器内科 専属スタッフが救命センターに常駐) | 《救急科》 各専門医が多く在籍し、しっかりした指導体制をとっていること、高度救命救急センターとして地域の最後の砦として重症患者が多いこと、重症外傷センターとして外傷症例が集約されていること、一方で関連病院を多数有しているER診療もしっかり学ぶことができること、ドクターカーやドクターヘリ(県外での関連施設で希望による)も研修可能であること。 |
| 横浜市立みなと赤十字病院 | 1403横浜南部 | 634 | | | 救急科: 当院救急部は年間1万台以上の救急車を24時間365日救急部スタッフ8名で初期診療を行っており断らない救急をモットーに診療に従事している。業務は非常に多忙を極めるため人的な支援を希望する。 | 救急科: ほとんどすべての救急搬送患者の初期診療を自科で行うため疾患領域は非常に幅広く症例数も極めて豊富であり、医師としての礎を形作るうえでとても有意義な研修を行うことが出来る。また、昨今多発する自然災害などへも日本赤十字社救護班として派遣実績があり、熊本地震や北海道胆振東部地震にも後期研修医を帯同させており、救急医療だけでなく災害医療においても学ぶ機会に富んでいる。 |
| 聖マリアンナ医科大学病院 | 1404川崎北部 | 1208 | 医師人事による派遣人事も含む | 未定 | 神奈川県地域医療医師研修学資金を受けている医師の中には本学の卒業生も含まれており、母校の附属病院において後期臨床研修を行っても良かったという考えはもちろんあるが、神奈川県地域医療医師研修学資金制度の趣旨を理解し、地域医療を担う医師になりたいという修学生生のキャリア形成支援等を行い、地域医療に従事する医療人の育成に努めることは本学の責務であると考えます。 | 本学は規模や特性の異なる4つの病院、大学病院、東横病院、横浜市西部病院、川崎市立多摩病院と、乳がんなどの乳癌疾患に特化したプレスト&イメージング先端医療センター附属クリニックを有している。これらの附属病院等において後期臨床研修を行うことによって、高度先進医療からプライマリ・ケアに至るまでの幅広い臨床研修を積むことができる。また、医師として学び続ける姿勢が身につく、医師としてのプロフェッショナリズムが養われる。 |
| 日本医科大学武蔵小杉病院 | 1405川崎南部 | 372 | 医師人事による派遣人事も含む | 未定 | 【救命救急科】 神奈川県救急医療発展、救急科専門育成に寄与したいため。 | 【救命救急科】 初期から第3次救急患者の診療、ドクターカーシステムの運用、学会活動、論文作成など大学病院救命救急センターならではの充実した研修を行うことが出来る。 |
| 横須賀共済病院 | 1408横浜東・三浦 | 742 | | | ・地域に根差した病院であり、開業医の先生方と大学病院やこども医療センターなど高次医療機関との橋渡しのみならず個々の患者及び家族とともに自分が将来どのように小児科医療に携わることができるかと考えを伝えられると思うため。 | 一般外科を始め開心術から小児手術まで幅広く症例があり、有意義な研修が行えます。 |
| 横須賀市立うわまち病院 | 1408横浜東・三浦 | 417 | | | 横須賀・三浦医療圏の医師不足、地域医療に資するため。 | 横須賀市立うわまち病院は三浦半島の東部、横須賀市の中央に立地する臨床研修指定病院です。当院は教育・研修におきまして臨床研修センターを備え、地域医療を目指す医師のために高い基礎教育を行っています。診療におきましては急性期から社会復帰まで一貫した患者支援を基本にし日帰り手術センターをはじめとして機能に特化したセンター化を進め、効率的で高度な医療システムを構築するとともに顔の見える医療連携を言葉に周囲の医療機関との診療連携も大切に行っています。また、当院は患者様の立場に立った医療の透明性、説明責任などにも配慮し診療情報開示、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進なども行っています。 |
| 医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院 | 1407湘南東部 | 132 | | | 開設して4年、若い医師の転職によりさらに病院を拡大していきたいと考えております。 | 当院は132床で規模は小さいですが、アットホームで部署間の垣根がなくなり様々なことに調整できる就業環境です。これからさらに地域に根差して患者さんのための医療と一緒に取り組んでいきたいと考えています。 |
| 一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院 | 1407湘南東部 | 330 | | 未定 | 当院は藤沢市北部に位置しておりますので、藤沢市だけではなく横浜、大和市、綾瀬市、茅ヶ崎市それぞれの一部を包括して医療・福祉・健康管理を担っております。地域医療のために、一般外来、二次救急、病診連携に力をいれており今後より一層力を入れていく為、また指導医が若手医師に寄り添って教育することが出来る体制を整えております。 | 藤沢湘南台病院常勤医としての勤務環境が保証されています。市中病院で豊富な症例数の中、初期対応から外来～入院～退院までを経験することが出来ます。病院の構造として急性期医療をはじめ回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、緩和ケア病棟とさまざまな機能を有しております。同法人に訪問看護、居宅介護支援、介護老人保健施設等もあり、地域の病診連携、病連携、携介護も経験できます。 |
| 医療法人徳洲会湘南藤沢徳洲会病院 | 1407湘南東部 | 419 | | 2 | 臨床研修病院として39年の歴史に根差した当院の屋根瓦式教育は卒業後臨床研修評価機構(JOEP)からも連続で認定を受け若手医師のニーズに沿った良質な研修指導環境が提供できていると自負している。神奈川県下での臨床研修に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。(専門研修においては藤沢市民病院・湘南鎌倉総合病院の連携施設となっている) | 湘南藤沢徳洲会病院では、日常遭遇する疾病と障害に対して適切な初期対応に必要な応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。 |

| 地域実践標準4年(専門医研修を希望しない場合は7年間) | | | | | | |
|-------------------------------|----------|------|-------------------|-------------|--|---|
| 病院名 | 医療圏 | 病床数 | 大学・基幹施設連携施設派遣の取扱い | 地域特等募集人数の目安 | 受入希望理由(病院説明事項) | キャリア形成に係るメリット(病院説明事項) |
| 平塚市民病院 | 1408湘南西部 | 416 | 基幹施設人事による派遣人事も含む | 未定 | 湘南西部医療圏の医師数は全国平均に比べ下回っている状況にあり、平塚市の医師数でみると、神奈川県内の市域ではかなり低い状況にあります。当院においても、医師不足に困窮している診療科があります。また、救急車搬送患者数は9,123人(平成30年度)で県内5指に入る多さであることから、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。地域医療や救命救急慰労に理解や興味をもっていただくことが想像され、当院でも活躍していただけることを期待します。 | 当院は神奈川県西部「湘南西部」の中心地である平塚市でアクティブな高度急性期医療を展開している病院です。病院全体が教育的雰囲気満ちて仕事しやすい、また温暖な気候で過ごしやすい地域に位置します。昨年10月に開設50周年、今年3月には新棟建設整備事業の完了によりグランドオープンを迎えた「平塚市民病院」の一員を担っていただくことを期待します。 |
| 神奈川県厚生農業協同組合連合会 伊勢原協同病院 | 1408湘南西部 | 350 | | 未定 | 東海大学病院に医師が集中しており、一般病院では医師不足が深刻な状況であるため | 学会出張の参加費を負担するなど学会発表を励行 |
| 東海大学医学部付属病院 | 1408湘南西部 | 804 | 基幹施設人事による派遣人事も含む | 1 | 本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来にわたり地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。 ※産婦人科は定員充足のため受け入れ不可です。 ※上記受入回答は2020年4月に限定しての回答です。 | 特定機能病院として高度医療を提供するとともに、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また総合周産期医療センターや造血幹細胞移植推進拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として専門的診療を行っています。 |
| 東海大学医学部付属大磯病院 | 1408湘南西部 | 312 | (人事による派遣先) | | (大学人事の受入施設) | 当院は23科の診療科体制で、西湘地区の中部において唯一、入院病床を持つ中核病院として、救急外来・HCUを備えた急性期のみならず、リハビリテーション等の慢性期をも充実させた医療を提供しています。 また、地域包括ケア病院においては地域との連携を密に、急性期から近隣施設や在宅に向けた切れ目のない医療に取り組んでいます。 専門医・指導医が多数在籍しており、地域に密着した丁寧な医療の提供をベースにした、十分な教育指導を受けることが可能です。 |
| 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 | 1409県央 | 469 | | 未定 | 当院は昭和58年地域の皆様に誘致していただく形で海老名市に開院いたしました。これまで神奈川県中央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行ってきました。 従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていくために受け入れを希望しております。 | 当院は神奈川県海老名市に加え座間市、綾瀬市を含む県央地域約33万人の診療圏を有する急性期中核病院です。平成29年には県央地域初の救命救急センターを開設し、更なる高度急性期医療を提供できるよう取り組んでおります。各診療科において専門性の高い医師が多く在籍していますので数多くの様々な症例を積むことが可能です。 |
| 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院 | 1409県央 | 352 | | | 当院は座間市の「救急医療の立て直し」という使命のもと、市内で3施設目の2次救急病院として、平成28年にオープンしました。若い先生方とともに更なる救急医療の強化を図り、地域貢献をしてみたいと考えております。 | 当院はグループ施設の海老名総合病院の臨床研修医の受け入れを行っており、研修医からは一医師として診療にあたることができ、やりがいを感じるなどの科においてもそのような感想を得ております。経験に関係なく先生方の力を遺憾なく発揮いただける環境を整えております。 |
| 社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 | 1409県央 | 277 | | | 多くの症例数と指導医数を確保できており、環境は整っているが大病院との連携が薄く、症例数に対して研修医以外の若手医師が不足しているため。 | 救急車年間約4800台、救急患者約13500人の受入があり、救急指定病院として多くの症例数と指導医数を確保している。多種多様な治療を行っており、地域の中核を担う病院として病連携、病診連携を幅広く行っている。 |
| 北里大学病院 | 1410相模原 | 1033 | 医局人事による派遣人事も含む | 未定 | 【救急科】 ・救急医療に興味があり、人の命を助けたい、苦しむ人のために医療を提供したいと考える若い医師に救急医療の教育を行い、救急医を育てることが大学の使命であり、さらに育てた救急医と連携し、地域医療の質の向上を図ることが大病院の役割であるので、受け入れを希望いたします | 【救急科】 ・当救命救急センターは10名の救急専門医と各科派遣の10名の指導医が専従で勤務しているため、救急科の専門的研修のみでなく、各診療科の救急診療についても学ぶことが出来ます。特に頭部、胸腹部、四肢外傷は手術・集中治療のすべてを救命救急センター内で実施しています。またIVRI-関連でもセンターの血管造影室で救急医が実施しています。平素から180~200件/年のドクターカーの出動があり病院前治療、災害医療についても学ぶことが可能です。やる気のある若い医師を待っています。 |
| 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 | 1410相模原 | 458 | | | 相模原病院は免疫異常(リウマチ、アレルギー)高度専門医療で、全国に2か所のアレルギー疾患中心拠点(他国立成育医療研究センター)に指定されています。また、神奈川県の中核病院として、がん診療連携指定病院、災害協力病院、地域医療支援病院といった役割も担っています。このため、初期研修に引き続いて神奈川県内で活躍する後期研修医の確保・教育に貢献したいと考えております。 | 一次救急~二次救急を中心とした診療を各診療科と救急科の医師が連携して診療しています(昨年度受入救急車4523台、12.4台/日) |
| 小田原市立病院 | 1411県西 | 417 | | 未定 | 当院は県西地域の基幹病院として29の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに地域周産期母子センターとして小児、周産期救急また脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などのあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全不整脈等の心臓疾患全般だけでなく全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行ってまいります。 全国的な医師不足の中当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受入を希望するものです。 | 当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。当院で自治医科大学卒の医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師や20名ほど在籍する初期研修医として互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事していただけることを期待しています。また、当院は多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れております。また、診療科間の連携も密に行われていることから診察しやすい勤務環境が整っております。 |
| 神奈川県立足柄上病院 | 1411県西 | 296 | | 未定 | 県西医療圏は県内でも早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要である。 | generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市立大学との連携で責務年限終了後に関してもキャリア継続が可能です。 |